

【対策のポイント】

- 地域の高齢化が進み、**荒廃農地が増加**。
- 農地を集積・集約化するための区画拡大を実施。企業と地域の担い手が共同で出資し、**新たに農地所有適格法人を設立**。
- 町内に工場がある(カゴメ(株))と連携し農業・観光・工業が一体となった「**野菜のテーマパーク**」構想を実現。

【取組地域の概要】

○位置
長野県 諏訪郡富士見町



おおだいら
大平地区

- 事業名
農業競争力強化農地整備事業(H28～R1)
- 主要作物
トマト、ブロッコリー、とうもろこし 等
- 受益面積 11.5ha
- 主要工事
区画整理工 A=7.6ha
暗渠排水工 A=8.0ha 他

水田の区画拡大と汎用化による高収益作物の導入

【整備前】

狭小な区画で、**用排水路が老朽化**。高齢化、担い手不足により、**荒廃農地が増加**。



基盤整備 (H28～R1)



水田の区画を拡大(平均25a→70a、最大1.8ha)するとともに、汎用化のための暗渠排水の整備に併せて、用排水路及び農道を整備したことにより、**生産コストの低減、高収益作物の導入**が可能になり、法人の参入による雇用が増加。

施設栽培によるトマトの高収量生産

- 基盤整備後、周年型の大型ハウス(1.1ha)を設置し、**年間約600tのトマトの生産**が可能に。



周年型の大型ハウス

農地の7割を生産法人に集積

- 地区内の農地の7割を新たな農業生産法人へ集積。**高収益作物の栽培面積は整備前の約2倍に増大**。



整備後、水稻から野菜に転換

併設した観光施設による交流の増加

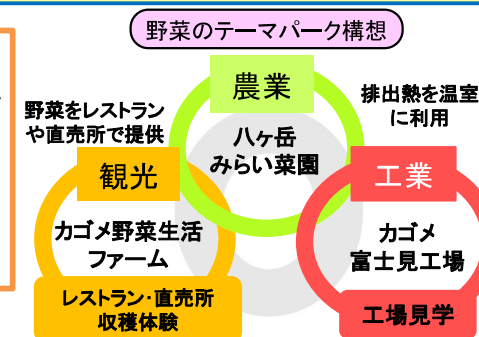
- 地区に隣接して、新設されたレストラン・直売所は、**3万人を超える来場者**があり、都市住民との交流が促進。



収穫体験もできる観光施設

農業・観光・工業の連携による地域の活性化

農業・観光・工業が連携した新しい地域創生のモデルとして期待



農業生産額が大幅に増加

高収益作物の導入により農業生産額が増加

